

# 日本代協アカデミー構築へ

## 日本代協 2017年度臨時総会開く



臨時総会の様子



金子会長

「デジタル革命の進展により、保険のあり方そのものが変わる可能性もあり、変化を先取りする必要がある。また、顧客本

総会に先立ち挨拶した金子会長は、損保大学課程コンサルティングコースの受講者が、関係者の尽力により、過去最多の2235名となったことなどを報告。また、山梨熊本、奈良の3代協が「三冠王」(コンサルティングコース受講者募集、会員増強、国民年金基金加入者募集の3つの目標をすべて達成すること)を

### 良質なサービス提供 組織の質向上と仕組みが不可欠

日本代協(金子智明会長)は3月9日、東京・千代田区の損保会館大會議室で2017年度臨時総会を開いた。臨時総会では、日本代協アカデミー(仮称)の構築や実効性のあるCSR活動の展開、組織力強化に関して各代協による自主目標の確立と取組みの他、次年度の事業計画など3つの議案を付議し、全付議事項が承認された。なお、損保大学課程コンサルティングコースの受講者が2235名と過去最多となった。

獲得し、有言実行の組織運営を展開したことについて謝辞を述べた。 防災対策の重要性や業界動向などについては「自らの生活における防災対策、代理店経営におけるBCP策定と定期的な訓練を実施し、地域社会に寄り添う代理店としていざという時にしっかりとお客様さま対応ができる体制を構築する必要がある」と強調。経済環境の変化については「人口減少やAI・IOTなどのデジタル革命の進展により、保険のあり方そのものが変わる可能性もあり、変化を先取りする必要がある。また、顧客本

2018年度事業計画案承認の件では、日本代協が実施する各種取り組みなどについて記載。 代理店や募集人の資質向上のための取組みとしては、損保大学課程コンサルティングコースの受講者募集に主体的に取り組みむことに加え、日本代協独自の教育の枠組みとして、日本代協アカデミー(仮称)を構築することとした。具体的には、「代理店経営の高度化に対応するための組織力強化研修メニュー」「募集人一人ひとりのレベルアップを図るための基礎教育研修メニュー」「収益向上のための実践的研修メニュー」を策定し、順次施行・展開することとした。

実効性あるCSR活動の展開については、日本代協グループ全体で取り組む統一活動(全国ベースの取り組みと地域限定の取り組み)と各代協独自活動に整理し、主体性、実効性を高めることとした。 組織力強化については、各代協は代協ごとの専門代理店換算組織率に応じた増店数を示したガイドラインと中期経営計画とを照合したうえで自主目標を確定させ、各代協の総会で組織決定して臨むこととした。 対外的広報活動の展開については、今年度のWEB媒体を活用したPR企画へのアクセス数の大幅な増加(3月9日時点アクセス数914万回/目標111万回)を受け、次年度も損保トータルプランナー並びに代協の存在を周知するPR企画の制作を継続することとし、また、前回改定後10



(損保版)

第1～4月曜日発行  
発行所 新日本保険新聞社  
大阪市西区朝本町1丁目5-15  
(郵便番号550-0004)  
電話 (06) 6225-0550 (代表)  
FAX (06) 6225-0551 (専用)  
購読料 1か月2160円  
(消費税、送料込み)  
©新日本保険新聞社 2018

シンニチ保険Web  
www.shinnihon-ins.co.jp  
購読者専用バックナンバー  
閲覧パスワード  
Sphinxquiz  
2018年4月2日 AMまで  
※偶数月の第一日曜日正午ごとに変更

年が経つ日本代協ホームページのリニューアルにも着手することとした。

代協会員への支援・サービス・情報の提供については、代理店HP構築支援サービス、WEB監査、事業承継コーディネーター制度など既存施策の活用方法の情宣、ならびに、本業に直結する成功事例やベストプラクティスの収集・提供により、体制整備の拡充を後押しすることとした。

法人運営については、ブロック協議会運営ガイドラインを策定、提示し、情報と熱が伝わる組織運営を進めることとした。